

セルリアンタワー能楽堂

定期能

八月喜多流

ろうそく  
袴能

「半薨」

友枝

昭世

おはなし

青柳

恵介

平成二十六年  
八月二日(土)  
午後五時開演

おはなし

青柳 恵介

休憩(十五分)

ろうそく・袴能

夕顔の女の霊  
里の女

友枝 昭世

半 薨

雲林院の僧 宝生 欣哉  
所の者 高澤 祐介

大鼓 亀井 広忠  
小鼓 曾和 正博

笛 一噌 仙幸

◎半薨(はしとみ)

雲林院の僧が夏安居(夏の修行)の終わりに、立花供養(その期間に仏に供えた花々の供養)を行います。そこへ一人の女が現れて夕顔の花を手向けます。僧が女に名を尋ねるとただ夕顔の花とだけ答え、更に問い詰めると五条あたりの者といひ、活けられた花の陰に消え失せます。(中へ)僧が不思議に思っていると、所の者がやって来て光源氏と夕顔の物語を聞かせ、その女は夕顔の亡霊であるかと述べ申いをすすめます。僧が五条あたりを訪ねてみると荒れ果てた一軒の家に夕顔が咲いており、寂しい秋の景色を

後見 中村 邦生  
佐々木多門

地謡 友枝 真也 長島 茂  
内田 成信 大村 定  
友枝 雄人 香川 靖嗣  
佐藤 陽 栗谷 明生

〈終演予定 午後7時00分〉


眺め『源氏物語』の昔を偲んでいると、半薨を押し上げて一人の女が現れます。女は光源氏との思い出を語り、舞を舞いますが、夜明けを告げる鐘と共に僧に別れを告げ、また半薨の中へ消えて行くと見えましたが、それは僧の夢の中のことでした。

袴能は、かつて能の道具・装束を休ませる季節の夏の風物詩でした。紋付袴姿で演じられ、普段面や装束で隠されている能楽師の素の演技が見られます。また、今回はろうそく能にて上演しますので幻想的になり、更なる幽玄の世界が広がります。

シテは夕顔の花の精とも夕顔の女とも取れ、花と女との茫漠とした描き方がはかない生命の夕顔の花に寄せられ効果的です。恋の思い出に生きる、ひそやかな女の純情を描いた詩的な作品です。

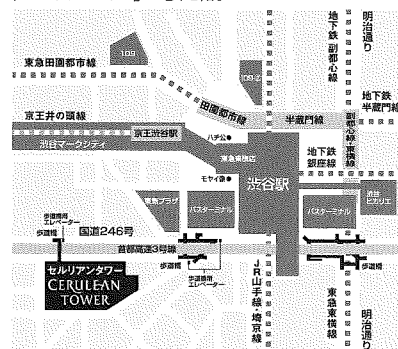
平成26年 8月2日(土)

午後5時00分開演(午後4時30分開演)

- ◎前売開始：平成26年5月2日(金) 午前10時00分より
- ◎料金：S席(正面)12,000円  
(税込み) A席(脇正面)10,000円  
B席(中正面) 8,000円
- ◎チケット申し込み：Bunkamura チケットセンター 03-3477-9999  
オンラインチケット  Bunkamura <http://my.bunkamura.co.jp/>  
チケットぴあ(音声自動認識/Pコード) 0570-02-9999(Pコード:436-363)  
<http://t.pia.jp/>

※都合により公演の一部(出演者・曲目等)を変更する場合がございます。ご了承ください。※休憩時間に、能楽堂隣「金田中」入り口にて、軽食・飲み物の販売をいたします。  
※セルリアンタワー東急ホテルでは、お食事とチケットをセットしたお得なプランをご用意いたしております。(お問合せ・お申込み)ホテル代表 03-3476-3000

[渋谷駅]国道246号線沿いにそびえる超高層ビル「セルリアンタワー」の地下2階。



CERULEAN TOWER 能楽堂 NOH THEATRE

〒150-8512 東京都渋谷区桜丘町26番1号B2F  
TEL.03-3477-6412/FAX.03-3477-0190

- 電車：東急東横線・田園都市線・JR山手線・埼京線、東京外環線・半蔵門線・副都心線、京王井の頭線の渋谷駅より徒歩5分
- 成田空港より：リムジンバスで約110分 ●羽田空港より：リムジンバスで約50分
- 東京駅より：JR山手線(外回り)で約25分 ●首都高速：渋谷ランプより約5分

<http://www.ceruleantower.com>  
＜公演に関するお電話でのお問合せ＞平日10時～18時、土日祝14時30分～17時30分